

TOPICS

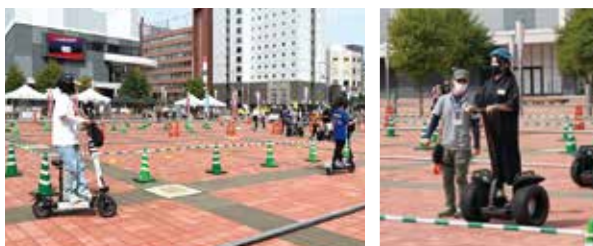
7月～9月の主な出来事をピックアップしてご紹介します



田んぼアートで祝う 市制100年

7月～8月

JAたいせつ青年部の田んぼアートが、今年も東鷹栖地域で行われました。小学生を含む約230人が苗を手植えし、6種類6色の稲で、市制施行100年を祝うあさっぴーや「これからも このまちで」の文字を表現しました。稲刈りが終わるまで、多くの人が高さ約8mの見晴台から美しいアートを楽しみました。



電動モビリティでまちを活性化

9月3日

旭川まちなかモビリティ体験会が、旭川駅北広場で開かれました。ヘルメットを着用した市民の皆さんが、電動キックボードや立ち乗り電動二輪車「セグウェイ」、トヨタ自動車の立ち乗り電動三輪車「C+walk」に試乗しました。旭川ではまだ馴染みの少ない電動モビリティを身近に感じてもらうきっかけとなりました。

にぎわう「食の祭典」。咲く笑顔

9月17日～19日

「北の恵み 食べマルシェ」が3年ぶりに開催されました。市内をはじめ、北北海道各地や旭川市の交流都市など、全国からも自慢のグルメが集結。約240店舗が出店し、さながら「大きなごちそう市場」になりました。会場は新型コロナ感染防止対策が徹底され、3日間で延べ62万9千人が舌鼓を打ちました。

